

公立保育園の整備のあり方に関する意見書

平成 22 年 12 月 22 日

上越市保育園のあり方検討委員会

1 はじめに

現在、上越市の子ども数は少子化の進行により減少しているが、社会情勢の変化を背景に核家族化や共働き家庭の増加等により、保育園への就園率は増加している。とりわけ、厳しい経済状況が続くなか、3歳未満児の保育については、一層の環境整備に期待が寄せられている。また、就労形態の多様化により、様々な保育サービスへのニーズも年々高まっている。

こうした中において、市内では人口の偏在が見られ、保育園においても特定の園に児童が集中し、希望する保育園に入園できない状況がある一方、児童数が定員を大きく下回る園も生じている。

また、市内の公立保育園の多くは老朽化が進んでいる。修繕や部分改修等で安全確保に努めているが、いずれ根本的な整備、改善が必至である。

さらに、保育園には子どもの育ちや子育て家庭への支援、地域の子育て力の向上なども含めた子育て支援の総合的拠点としての役割も期待されており、幅広い子育て支援機能が今後一層重要になってくる。

このような様々な課題に対し、児童数の変化や保育・子育て支援ニーズ、市の財政環境など様々な実情を視野に収めながら、総合的、計画的な施策を講じることが求められている。

本委員会は、こうした状況を踏まえ、上越市の保育環境の改善を図るため、公立保育園の適正な規模や配置など、今後のあり方について検討するために設置されたもので、喫緊の課題である施設の老朽化と保育園の配置見直しについて重点的に議論し、多様な立場、観点から検討を重ねてきた。

以下、6回にわたる検討のまとめを意見書として提出する。

2 上越市における保育園の現状と課題

上越市には、現在67の保育園があり、その内訳は公立の認可保育園が45園、私立の認可保育園が17園、公立の無認可保育園である地域保育園が5園(1園は休園)である。また、公立の認可保育園は、合併前の上越市に23園、13区に22園ある。私立の認可保育園は、吉川区と名立区に1園ずつあるほか、15園が合併前上越市にある。

本市の公立保育園には、主に、施設の老朽化、定員と利用児童数の不均衡、多様な保育・子育て支援ニーズの増加という3つの課題があり、それへの対応が必要となっている。

(1) 施設の老朽化

まず、施設の老朽化をめぐる問題がある。13区の多くの区では、合併前までに統廃合等を進めてきたことから、比較的規模も大きく一定の設備を整えている新しい保育園が多い。これに対して、合併前上越市では、平成9年度に黒井保育園と遊光寺保育園を統合し、やちほ保育園を整備したほか、平成19年度に春日保育園を改築したが、全体として施設の老朽化が進んでおり、すでに耐用年数を超えている施設が9園、さらに今後10年以内に耐用年数を超える施設が13園ある。

これまで順次、修繕や耐震補強工事を行い安全性を確保してきているが、今後はより中長期的な観点から計画的に整備していかなければならない。

また、建築年次が古い保育園には、新築当時に想定されていなかった0・1歳児への対応ができる乳児室や設備等が不足し、増加傾向にある3歳未満児の受入れが困難になっていることから、この観点からも既存園の増築・改修も含め、計画的な整備を進める必要がある。

< 公立保育園の耐用年数の状況 >

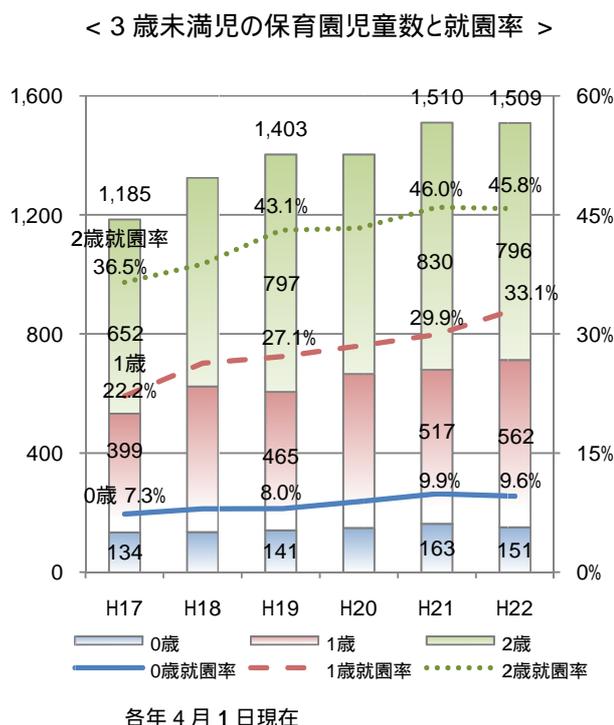
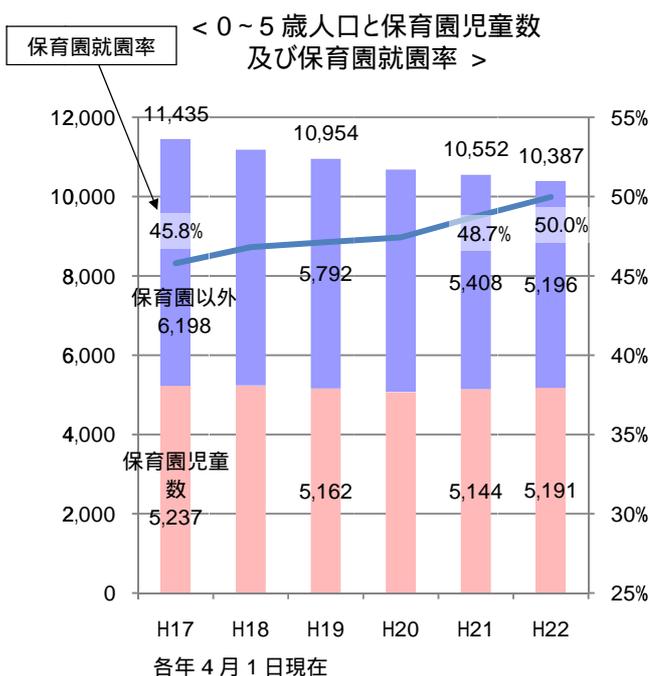
耐用年数の残	保育園数	耐用年数の残	保育園数
超過	9園	16～20年	5園
1～5年	9園	21～30年	12園
6～10年	4園	31～40年	6園
11～15年	2園	41～50年	3園

平成22年4月1日現在

(2) 定員と利用児童数の不均衡

次に、定員と利用児童数の不均衡という問題がある。13区や合併前上越市の郊外の地域では利用児童数の減少が進み、定員を下回っている保育園が多い。一方、市街地の宅地開発が進められてきた地域では利用児童数が急増し、居住地近隣の希望する保育園に入園できない状況が見受けられる。特に、女性の就労が進んだ近年、3歳未満児の入園希望が増加し、市街地における0・1歳児の年度途中での入園が困難になってきている。

今後は、市全体として入園児の低年齢化がさらに進行することが予測される一方、児童数の偏在はそれぞれの地域の人口動態や開発状況によって変動していくものと考えられる。定員と利用児童数の不均衡を是正するとともに、中長期的な観点からこの変動に柔軟に対応できる規模と配置を考えていかなければならない。



(3) 多様な保育・子育て支援ニーズ

そして、保育ニーズの多様化という問題がある。市全体で共働き家庭が増加し、保護者の就労形態もまちまちなものになっていることから、保育時間の長時間化や通常保育以外の様々な保育サービスが求められている。

延長保育については、現在、市全体では公立の認可保育園 45 園のうち 21 園が平日に 19 時までの保育（7時型）を実施しているが、合併前上越市ではすでに実施してきた私立保育園が多いこともあり、公立の認可保育園では 23 園中 7 園のみの実施に止まる。また、土曜日の保育時間を 12 時までとする園が公立の認可保育園 45 園のうち 30 園を占め、他の 15 園は午後にも実施するものの、いずれも 17 時までとなっている。新潟市や長岡市では、多くの公立保育園で平日は 18 時 30 分以降、土曜日は 18 時以降も開園しており、隔たりがある。

一時預かりについては、13 区では公立保育園 22 園中 15 園が実施しているが、合併前上越市では 2 園のみの実施であり、必ずしも利用可能児童数が多いとは言えない状況にある。

加えて、子育て支援ニーズへの対応がある。保育園では子育てに関する相談と援助、保護者の交流の機会や子育て情報の提供等を実施しているが、日常的な支援に加え、13 区では公立保育園 8 園と私立保育園 1 園の 9 園が、合併前上越市では公立保育園 2 園と私立保育園 6 園の 8 園が、それぞれ園内に子育てひろばを開設し、そのための体制を整えている。

全国的にも、孤立しがちな保護者や就労等で子育てが困難な保護者への支援の必要性が増しており、本市においても、保育園を含めた諸施設・団体が連携協力することによって、これまで以上にきめの細かい支援体制を構築していくことが求められている。

< 延長保育等の設置状況及び利用状況の推移 >

		平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
延長保育(7時型)	設置数(か所)	29	29	31	31	33
	利用者数(人)	38,505	39,386	37,605	39,400	39,702
一時預かり	設置数(か所)	26	25	23	25	25
	利用者数(人)	9,318	8,915	8,982	11,023	9,466
休日保育	設置数(か所)	1	1	2	2	2
	利用者数(人)	1,787	1,497	1,563	1,483	1,263
夜間保育 (ファミリーヘルプ保育園)	設置数(か所)	1	1	1	1	1
	利用者数(人)	270	258	424	283	205
病児・ 病後児保育	設置数(か所)	2	2	2	2	3
	利用者数(人)	915	1,006	871	964	2,413

延長保育・一時預かりについては、公立・私立の実績を合わせたもの。

3 公立保育園の整備に関する今後の方向性

以上のような課題を果たすための今後の公立保育園の整備のあり方について、本委員会では適正な規模、配置及び子育て支援機能の3つの観点から検討を行った。以下、結果を要約して示し、それぞれの根拠について説明を加える。

(1) 適正な規模について

- ・ 保育園の定員は、概ね60人から150人とする。
- ・ ただし、各園の定員は、上記を基本としながら、各地域の特性を斟酌したうえで柔軟に定めるものとする。

現在、市内の公立保育園の定員数は最小30人、最大230人であり、園によって規模が大きく異なっている。

今回の検討にあたり、保育者の立場から適正とされる規模を把握するため、公立保育園の園長を対象にアンケート調査を実施した。その結果、小規模園では「一人ひとりに目が行き届く」等のメリットがある反面、「集団での活動が経験できない」等のデメリットが挙げられた。一方、大規模園では「子ども同士の刺激が多く活気がある」等のメリットがある反面、「異年齢児交流が難しい」等のデメリットが挙げられた。そして、保育園の適正な規模については、定員が60人～100人ないし60人～120人とする意見が多数を占めた。

本委員会では、この結果を踏まえ、委員による保育園の視察の内容、園長による説明等に基づいて、適正な規模について議論した。議論においては規模の適正さを判断するために有効ないくつかの視点が示された。

まず、子どもの育ちの視点である。保育園は、同年齢児童による適度な集団生活と、異年齢児童との交流の経験の双方を保障できる規模であることが望ましい。「1桁の児童数では適正規模として課題がある」「子どものことを考えると、年齢別のカリキュラムに沿った活動ができる環境の方がよい」等の意見にそれが示されている。これは保育者の立場から出された視点と重なり合うものである。

また、委員からは、それぞれの地域性や各園がこれまで持ち続けてきた特性に配慮する必要があるという視点が出された。「それぞれ地域に合った適正な規模があるのではないか」、「規模の大小にかかわらず各園にはそれぞれの特長があり、一概に何人程度であれば適当という基準を定めることは難しいのではないか」という意見がそれである。

さらに、園運営の視点も示された。「1クラスの人数が適正であれば園全体の人数が多くても構わないのではないか」という意見があった一方で、「大規模になればなるほど職員数が多くなり、職員間の連携や意思統一等が難しくなり、園全体の運営に支障をきたす恐れがある」という意見が出されている。

余りにも大規模では運営面に課題を生じる恐れがあるが、現実には各年齢児を2クラスずつで保育している園も多くあり、円滑な運営を行っていることを踏まえると、各年齢児2クラスまでは許容の範囲と考えられ、その場合には定員150人程度の規模となる。

このようなことを基本として、市内の大規模園が一定の役割を果たしている実情や、各地域の保育園に対するニーズの多様性に応える必要性等を踏まえ、本委員会では標準としての定員を概ね 60 人から 150 人とする事とした。

ただし、地域性・園の特性の視点から、新たな保育園の定員の設定にあたっては、地域の児童数や保護者をはじめとした地域住民のライフスタイルに十分配慮するため、柔軟な対応を求めるものとした。

【付言】

0・1 歳児と 2 歳児以上では国の定める最低基準が異なることから、入園希望数が増加している 0・1 歳児の定員を設定するにあたっては、近隣の保育園の受入れ能力、保育ニーズ等を斟酌した需要予測を確実にを行うことによって、将来にわたり柔軟な対応が可能となるように留意する必要がある。

(2)適正な配置について

- ・ 中学校区内に最低 1 園以上の保育園を配置する。
- ・ 中学校区内に 2 園以上の保育園を配置する場合は、地域性に配慮しつつ適正な規模となるよう配置する。

市内 67 の保育園のうち、43 園が合併前の上越市に、24 園が 13 区にある。また、13 区のうち安塚区、浦川原区、大島区、牧区、中郷区、板倉区、清里区、三和区の 8 区については、各区に 1 園ずつある。なお、市内に 12 ある幼稚園は、そのすべてが合併前の上越市にあり、13 区にはない。各地域自治区や学校区における保育園や幼稚園の配置状況、園児の通園状況等を踏まえ、適正な配置について検討を行った。

13 区では、ほとんどの子どもが地元の保育園に通っており、区を越えての通園は少ない。保育園は地域に密着した施設となっている。区内に 1 園だけの保育園の中には児童数が減少している園もあるが、学校と同じように保育園は子育て家庭が生活をしていくうえで重要な施設であり、このような施設がなくなるとその地域の中で子どもを生み育てることが困難になる。

これに対して合併前上越市では、小学校区や中学校区、地域自治区を超えて通園する児童が多くなっている。特に市街地では、近隣に公立、私立の多くの保育園が集中していることもあり、学校区や地域自治区の区分によらず、保護者が勤務先や保育時間等のサービス内容によって通園可能な保育園を選択しているケースの多いこともうかがわれる。

このような状況を踏まえ、本委員会で検討した結果、当市においては市域全体にわたって一律の基準で判断するのではなく、地域性を反映させた基準を設け、配置していく必要があるという結論に至った。

そして、13 区では、地域における保育や子育て支援の拠点として、これまで通り最低 1 園以上の公立保育園の設置が必要であり、その維持を求めるものとした。また、合併前上越市や保育園が複数ある区においては、地域全体で子どもを育てるという観点から、小学校区などの地域性を考慮した保育園の配置を求めるものとした。

【付言】

公立の無認可保育園である地域保育園については、開設当時と現在とでは地域の生活状況や交通事情が異なることや、地域保育園としての保育ニーズは認可保育園の中で対応可能なことから、認可保育園への転換や近隣の認可保育園への統合を検討する必要がある。

(3) 保育園における子育て支援機能について

- ・ 地域の子育て支援拠点として、7時型の延長保育及び一時預かりを実施する保育園を中学校区内に最低1園設置する。
- ・ また、地域の実情に応じて、子育てひろばや他の機能を併設する。

市内の保育園は、延長保育の時間や受入れ年齢、一時預かりの実施や子育てひろばの有無等について各園で差がみられる。この現状を踏まえ、新たな保育園が備えるべき子育て支援機能について検討した。

保育時間については、「8時から18時までの場合、フルタイム就業の保護者は送迎や勤務の時間に間に合わない。特に、送迎や通勤に時間がかかる冬期間等においては、7時から19時までの保育時間が必要ではないか」という意見があった。実際に地元の保育園がいずれも6時型のため、入園したくてもできないケースもある。そこで、地域のニーズを踏まえつつ、中学校区に最低1園は7時型の保育園を配置し、保護者が必要に応じて保育時間を選択できるようにするものとした。

一時預かりについては、ニーズは高いものの、保育園で受入れ可能な人数は限られており、多様なニーズに対し園のみで対応することは困難な状況である。本委員会は保護者の状況に合わせ柔軟に対応できるように、短時間の預かりを保育園以外で実施する可能性についても論議した。その結果、園以外の場における利用しやすい形態による一時預かりの実施についての一層の検討と、中学校区に1園を目安として緊急時対応も可能な実施園の配置を求めるものとした。

子育てひろばについては、保育園の持つ子育てに関する専門性や情報等を活用できることから、併設するメリットはある。ただし、その保育園に入園する予定がない利用者にとっては、気軽には利用できないという意見があった。そこで、保育園を含めた、様々な地域ニーズに合わせた利用しやすい形態での実施を求めるものとした。

以上のほか、利用児童の受入れ年齢についても論議された。特に、乳児の受入れについては施設・設備の不足から実施していない園もあり、地元の園に預けたくても預けられないという実状がある。3歳未満児の入園希望が増加しているなか、今後はすべての保育園で乳児の受入れを可能にする体制への移行が必要である。

また、病児・病後児保育の保育園併設による実施を望む意見も出された。病児・病後児保育の設置・運営には医療機関の協力が不可欠なほか、変動するニーズ量の見極めが困難であることや感染症等の拡大予防対策の必要性など、解決すべき課題も多いが、働く保護者にとって切実な問題であることから、保育園併設の形態に限定することなく、実施可能な方法を検討していく必要がある。

【付言】

働きながら安心して子育てができる環境整備の在り方をめぐって、子育て家庭への負担を大きくしている社会環境の改善が必要であるという議論もなされた。子どもを生きやすく育てやすい、また、働きやすい環境を創出するためには、以上に示してきたような保育・子育て支援機能の拡充を着実に図るとともに、ワーク・ライフ・バランスの確立に向けた取組みを推進していくことが求められる。

4 保育園の整備にあたって

今後、公立保育園の整備を具体的に進めるにあたっては、これまで各園がそれぞれの地域において果たしてきた役割を踏まえた上で、保護者、地域住民、私立保育園をはじめとする保育・教育関係者など各方面の意見を十分に反映しながら、保育現場や市民生活に無用な混乱を与えることなく、子どもと地域にとって最善の選択となるように、慎重に行われる必要がある。

また、現在、国では幼保一体化を含めた新たな次世代育成支援のための包括的・一元的なシステムの構築を進めていることから、新たな制度への移行も視野に入れながら対応していくことが求められる。

保育をめぐる状況が大きく変化する中であっても、保護者、保育園・幼稚園関係者、地域住民などの子どもに対する思いは同じであると考え。この意見書では、公立保育園整備のあり方について、適正な規模、配置、子育て支援機能の3つの観点から考え方を示した。子どもが地域の中で健やかに育ち、また、保護者が地域の中で安心して子育てができる環境を整備するために、本委員会の提言が公立保育園の整備にあたって有効に用いられることを期待する。

資料

< 公立認可保育園一覧 >

保育園名	定員	児童数	住 所	開 園 時 間			受入年齢	一時 預かり	子育て ひろば
				7時型	平 日	土 曜 日			
東城保育園	80	77	東城町 1-2-5		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
南新町保育園	90	96	南新町 2-15		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
東本町保育園	90	85	東本町 3-6-27		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
北本町保育園	110	125	北本町 3-8-1		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
稲田保育園	60	55	稲田 1-6-1		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
大和保育園	90	58	大和 2-12-43		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
戸野目保育園	120	94	戸野目 136		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
上雲寺保育園	60	54	上雲寺 3		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
和田保育園	70	67	上箱井 552-1		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
春日保育園	210	235	春日山町 1-3-23		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
高士保育園	60	42	飯田 1322-1		8:00～18:00	8:00～12:00	1歳～		
子安保育園	80	85	鴨島 298-2		7:30～19:00	8:00～12:00	3か月～		
三郷保育園	45	52	本長者原 118-4		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
諏訪保育園	45	24	上真砂 32-2		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
富岡保育園	80	75	富岡 3003-12		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
古城保育園	90	91	港町 1-30-12		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
中央保育園	120	126	中央 2-3-36		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
夷浜保育園	70	45	夷浜 154		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
やちほ保育園	80	64	上荒浜 41-1		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
有田保育園	150	156	安江 1-6-30		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
有間川保育園	30	18	有間川 1334		8:00～18:00	8:00～12:00	1歳～		
保倉保育園	90	49	下吉野 403		8:00～18:00	8:00～12:00	1歳～		
北諏訪保育園	80	54	上千原 580		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
安塚保育園	80	58	安塚区安塚 1341-5		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
うらがわら保育園	130	124	浦川原区顕聖寺 767		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
大島保育園	45	32	大島区大平 5114-1		8:00～18:00	8:00～12:00	1歳～		
牧保育園	80	51	牧区小川 1802-1		7:30～18:00	7:30～12:00	3か月～		
柿崎第一保育園	120	80	柿崎区柿崎 5866-1		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
柿崎第二保育園	100	76	柿崎区柿崎 7051-1		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
上下浜保育園	60	53	柿崎区上下浜 446		8:00～18:00	8:00～12:00	1歳～		
下黒川保育園	60	39	柿崎区下小野 1509		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		
黒川保育園	30	13	柿崎区岩手 1071-1		8:00～18:00	8:00～12:00	1歳～		
はまっこ保育園	160	152	大潟区土底浜 1889-1		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
まつかぜ保育園	180	132	大潟区九戸浜 374 甲		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
南川保育園	200	121	頸城区上吉 1787-1		7:30～19:00	7:30～17:00	3歳～		
大養保育園	180	110	頸城区千原 135		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
明治保育園	60	58	頸城区手島 241		7:30～19:00	7:30～12:00	3か月～		
くびきひよこ園	60	59	頸城区上吉 194-1		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～3歳		
旭保育園	60	41	吉川区梶 257-2		7:30～18:00	8:00～12:00	1歳～		
吉川中央保育園	60	57	吉川区天林寺 10		7:30～18:00	7:30～12:00	3か月～		
中郷保育園	140	116	中郷区八斗蒔 178-2		7:30～19:00	7:30～12:00	3か月～		
いたくら保育園	230	262	板倉区針 668-3		7:30～19:00	8:00～12:00	3か月～		
きよさと保育園	110	110	清里区岡嶺新田 57		7:30～19:00	7:30～12:00	3か月～		
さんわ保育園	210	181	三和区浮島 57		7:30～19:00	7:30～12:00	3か月～		
名南保育園	45	20	名立区折居 61		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～		

< 私立認可保育園一覧 >

保育園名	定員	児童数	住 所	開 園 時 間			受入年齢	一時 預かり	子育て ひろば
				7時型	平 日	土 曜 日			
高田大谷保育園	90	103	寺町 2-24-8		7:00～19:00	7:00～18:00	3か月～		
マリア愛児園	90	97	西城町 2-3-12		7:00～19:00	7:00～19:00	3か月～		
ほたる保育園	120	139	飯 1955		7:00～19:00	7:00～19:00	2か月～		
くろだ保育園	60	57	黒田 623		7:30～18:00	7:30～13:00	3か月～		
和同保育園	60	73	仲町 6-4-28		7:00～19:00	7:00～19:00	3か月～		
こがね保育園	60	71	京田 132-10		7:30～19:00	7:30～17:00	3か月～		
なかよし保育園	120	137	稲田 3-6-6		7:30～18:00	7:30～12:00	2か月～		
城西保育園	90	102	上中田 1134-7		7:00～19:00	7:00～18:00	3か月～		
大曲保育園	90	101	新光町 1-10-14		7:00～19:00	7:00～18:00	3か月～		
同朋保育園	60	6	寺町 3-6-19		7:00～19:00	7:00～19:00	3か月～		
高志保育園	90	89	木田新田 1-1-7		7:00～19:00	7:00～18:00	3か月～		
五智保育園	60	68	五智 3-20-2		7:30～18:30	7:30～15:00	6か月～		
聖母保育園	90	102	五智 1-5-3		7:00～19:00	7:30～15:00	6か月～		
たちばな乳児保育園	42	45	春日山町 3-1-39		8:00～18:00	8:00～12:00	3か月～ 3歳未満		
門前にこここ保育園	60	68	下門前 158		7:00～19:00	7:00～19:00	3か月～		
吉川保育園	60	53	吉川区原之町 1749-2		7:15～19:00	7:15～19:00 第2、4～11:30	3か月～		
たちばな保育園	50	60	名立区名立大町 270		7:30～18:00	7:30～12:00	3か月～		

< 地域保育園一覧 >

保育園名	定員	児童数	住 所	開 園 時 間		受入年齢
				平 日	土 曜 日	
下正善寺保育園	35	7	下正善寺 527	8:30～16:30	8:30～11:30	3歳～
小猿屋保育園	45	25	小猿屋 523-1	8:30～16:30	8:30～11:30	3歳～
長浜保育園	35	11	長浜 975	8:30～16:30	8:30～11:30	3歳～
下綱子保育園	30	5	下綱子 706	8:30～16:30	8:30～11:30	3歳～
桑取保育園	30	-	増沢 961-3	休園中	-	-

保育園一覧の内容は、それぞれ平成22年4月1日現在

< 公立保育園園長へのアンケート結果(抜粋) >

保育園の適正な規模の検討にあたって、現場の意見を参考とするため、公立保育園の園長 45 人を対象として、平成 22 年 7 月に実施したものを。

小規模保育園・大規模保育園のメリット・デメリットに関する主な意見

	小規模園	大規模園
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりにきめ細やかな配慮ができる。 自然に異年齢交流ができる。 家庭的な雰囲気での保育ができる。 保護者とのコミュニケーションがとりやすい。信頼関係を築きやすい。 地域との交流が盛んである。地域と協力しやすい。 職員間のコミュニケーションがとりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士の刺激が多い。 職員が多いため、様々なアイデアがあり、資質向上につながる。保育内容にいかすことができる。 活気がある。行事が盛り上がる。 集団生活が学べる。社会性や競争心が育ちやすい。 交友関係が広がる。気の合う友達を見つけられる。 多くの職員の手で、客観的に子どもを見ることが出来る。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士関わりによる刺激が少ない。 集団での活動ができない。 保育士が過保護・過干渉になりやすい。 社会性や競争心が育ちにくい。我慢が苦手になりやすい。 混合クラスとなり、年齢別の保育ができない。 友達関係が固定化してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに目が届きにくい。 臨時職員含め職員数が多く、職員同士の連携が難しい。 全園児の状況を一人ひとりの保育士が把握することが難しい。 自然と異年齢交流ができない。(設定しないとできない) 安全管理が小規模な保育園よりも大変。 保護者とのコミュニケーションをとりにくい。

公立保育園園長から見た適正な規模に関するアンケート結果

	100人以下	110人以下	120人以下	130人以下	140人以下	150人以下	160人以下	合計
40人以上	2							2
50人以上	5		4			1		10
60人以上	10	2	8			2		22
70人以上	2				1			3
80人以上	3		3			2		8
90人以上								0
合計	22	2	15	0	1	5	0	45

保育園の定員について、何人以上が適正と思うか、また、何人以下が適正と思うかを調査したものを。

保育園児が住んでいる地区×通っている保育園の所在地(地域自治区別)

地域自治区	通っている保育園の所在地(地域自治区別)																									合計					
	高田	新道	金谷	春日	諏訪	津有	三郷	和田	高士	直江津	有田	八千浦	保倉	北諏訪	谷浜・桑取	安塚	浦川原	大島	牧	柿崎	大潟	頸城	吉川	中郷	板倉	清里	三和	名立	区内	出	
保育園児が住んでいる地区 (地域自治区別)	高田	400	47	49	9	1	3	4	1	2	1												1			4	2	524	400	124	
	新道	26	202	4	6	1	2	1			1	1		3						1					3			251	202	49	
	金谷	101	15	238	10			1	2		2									1	2							372	238	134	
	春日	63	17	36	382		1	1	1	27	11	2			1	1						2	4			3	2	2	555	382	173
	諏訪					19	1																						20	19	1
	津有	9	21		1	1	138		1	1		4		2									1	3	2	1	4	189	138	51	
	三郷	2	3					45																			1		51	45	6
	和田	12	5	37	1				111		1														1	4		172	111	61	
	高士	3	1							37																	1		42	37	5
	直江津	16	6	8	31						282	14	3		1	2		1				1	5			2		372	282	90	
	有田	14	23	1	21		1	1			65	206	6	1	25	1					1	2	16	1			1	3	389	206	183
	八千浦				1						1	3	92											11					108	92	16
	保倉										2	2		48										2					54	48	6
	北諏訪		1		1							1			23									1					27	23	4
	谷浜・桑取	1		2	1						1					30													35	30	5
	安塚																56												56	56	0
	浦川原				1													120					1						122	120	2
	大島																1	2	32										35	32	3
	牧		2																	50									52	50	2
	柿崎	1									1											256	6	4	3				271	256	15
大潟				4				1			4	4										267	1					281	267	14	
頸城	2	2								3	2	1					1		1	1	4	301	1				319	301	18		
吉川			1								1									1			142					145	142	3	
中郷								2																				114	112	2	
板倉	6	4	1				5	1	1																248		266	248	18		
清里	4	1																								101		106	101	5	
三和	3	2		1	2	2		1	2																			183	170	13	
名立																												80	80	0	
合計	663	352	377	470	24	148	52	125	42	387	250	109	49	54	34	58	124	32	51	261	284	347	151	115	261	110	181	80	5,191	4,188	1,003
区内	400	202	238	382	19	138	45	111	37	282	206	92	48	23	30	56	120	32	50	256	267	301	142	112	248	101	170	80	4,188		
入	263	150	139	88	5	10	7	14	5	105	44	17	1	31	4	2	4	0	1	5	17	46	9	3	13	9	11	0	1,003		

平成22年4月1日現在

< 上越市保育園のあり方検討委員会 委員名簿 >

(敬称略・順不同)

推薦団体等	氏 名	摘 要
国立大学法人上越教育大学	杉浦 英樹	委員長
公立大学法人新潟県立大学	斎藤 裕	副委員長
上越市私立保育園協会長	橋 潤浩	
上越市私立幼稚園連盟会長	小林 實	
NPO法人マミーズネット	中條 美奈子	
春日保育園保護者会	宮澤 恵	
高田大谷保育園親の会	宮越 啓子	
上下浜保育園保護者会	坂木 成人	
公募市民	内田 貴代美	
	折笠 友子	
	三浦 令子	